

お知らせ

『肺癌診療ガイドライン - 悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む - 2023年版』（2023年11月2日公開）を下記のとおり修正しました。

#番号をクリックすると当該ページにジャンプします。

修正日	当該番号	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
2023年 12月4日	#1 (肺癌)	周術期 CQ 25 推奨 b および脚注	b. 臨床病期 II B-III A 期（第 8 版） [*] に対して，術前プラチナ製剤併用療法を行うよう提案する。 脚注 * 術後病理病期 T3N2M0/III B 期，T4（≧7 cm）N2M0/III B 期を含む。	「*」を削除 脚注 * 術前臨床病期 T3N2M0/III B 期，T4（≧7 cm）N2M0/III B 期を含む。	誤植
	#2 (肺癌)	周術期 レジメン ニボルマブ併用	240 mg/body, day 1 （※3 カ所あり）	360 mg/body, day 1 （※3 カ所あり）	誤植
	#3 (肺癌)	IV期非小細胞肺癌 文献検索方法	2022年版改訂は，下記の検索式で 2021年版以降の検索を行い，各 CQ において採用を検討した。	2023年版改訂は，下記の検索式で 2022年版以降の検索を行い，各 CQ において採用を検討した。	誤植
	#4 (肺癌)	IV期非小細胞肺癌 CQ62	合意率：67%	合意率：71%	誤植
	#5 (肺癌)	IV期非小細胞肺癌 CQ63	13%（12例）で間質性肺炎が認められ，Grade 5も1例認められた ¹⁾ 。その後，同じく活性型 HER2 遺伝子変異陽性の既治療非小細胞肺癌 151例を対象として，トラスツズマブ デルクステカン単剤療法 5.4 mg/kg と 6.4 mg/kg を比較するランダム化比較第 II 相試験（DESTINY-Lung02 試験）が行われ，	26%（24例）で間質性肺炎が認められ，Grade 5も2例認められた ¹⁾ 。その後，同じく活性型 HER2 遺伝子変異陽性の既治療非小細胞肺癌 152例を対象として，トラスツズマブ デルクステカン単剤療法 5.4 mg/kg と 6.4 mg/kg のランダム化第 II 相試験（DESTINY-Lung02 試験）が行われ，	誤植
2023年 12月15日	#6 (肺癌)	III期非小細胞肺癌 レジメン 免疫チェックポイント阻害薬による 地固め療法	デュルバルマブ 10 mg/kg, day 1,2 週毎（最大1年間）	デュルバルマブ 1500 mg/body, day 1, 4 週毎（最大1年間）	情報更新

編集：特定非営利活動法人日本肺癌学会